

第45回東北中学校バスケットボール大会



試合No.	B2	男子準決勝	
会場	マエダアリーナ	日時	平成27年8月10日 10:20

チーム A	75	<table border="1"> <tr><td>21</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>12</td></tr> <tr><td>21</td><td>4th</td><td>15</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	21	1st	14	12	2nd	20	21	3rd	12	21	4th	15		OT		61	チーム B
21	1st	14																	
12	2nd	20																	
21	3rd	12																	
21	4th	15																	
	OT																		
津軽中学校	○		●	能代南中学校															

No.	選手氏名	PI-in	2P	3P	FT	PTS	Fouls	No.	選手氏名	PI-in	2P	3P	FT	PTS	Fouls
4	田中 裕也	×	11	2	4	32	2	4	牧野 湧	×	13		4	30	2
5	古川 空音	/	2	2		10		5	工藤 駿介	×	1	4		14	4
6	山本 崇瑛	×	5		3	13	3	6	大高 悠	×	2	1		7	3
7	佐藤 大成	×	3	1	2	11	1	7	大倉 夏輝	×					
8	石岡 怜	/	2			4	1	8	渡辺 魁星	×	3			6	3
9	馬場 太陽	×	1	1		5		9	成田 柚稀						
10	三上 裕介							10	古城 滉介	/	1			2	
11	佐藤 大雅							11	吉田 龍二						
12	安田 和志							12	沢藤 連						
13	工藤 雅	×						13	石木田 愛斗						
14	三上 光河							14	小川 剣						
15	村上 叶							15	川村 功大	/	1			2	
16	長内 良							16	腰山 歩夢						
17	一戸 啓吾							17	今野 皓太						
18	三上 輝斗							18	日諸 海翔						
コーチ	小野寿昭							コーチ	相模 津						
本数			24	6	9			本数			21	5	4		
合計点数			48	18	9	75	7	合計点数			42	15	4	61	12

主審(Referee) 三河 不二夫 第1副審(Umpire1) 五十嵐 清隆
第2副審(Umpire2)

テーブルオフィシャルズ 青森市立沖館中学校

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー Fouls:ファウル *印はエントリー変更

昨日の予選リーグCブロックを1位で勝ち抜いた津軽と、Dブロックを1位で勝ち抜いた能代南が全中出場をかけて戦う大切な一戦。

第1ピリオド、津軽はハーフコート・マンツーマン、対する能代南は3-2マッチアップゾーンディフェンス。立ち上がり、津軽が#7佐藤の3Pをはじめとする外角のシュート中心に攻め、能代南は#4牧野の力強いゴール下のシュートで応戦する。中盤以降、津軽は2-1-2オールコートプレスを仕掛け、インターセプトからの速攻で得点を重ね、波に乗る。21-14津軽7点リードで終了する。

第2ピリオド、津軽は外角のシュートが入らず、苦しい展開となる。対する能代南は確実にリバウンドをとり、速攻で得点を重ねペースを握る。更に終盤は能代南の#5工藤の3P、#4牧野のショートドライブやミドルシュートで順調に加点する。33-34と能代南が逆転に成功したところで前半を終了する。

第3ピリオド序盤、能代南#5工藤、#6大高の3Pでリードを広げるも、対する津軽は#4田中や#5古川の速攻で必死に食らいつく。途中津軽はオールコート・マンツーマンプレスを仕掛け、インターセプトからの速攻で順調に加点しペースを握る。一方能代南は攻撃のリズムを作れず、苦しい展開となる。54-46津軽が再逆転し終了する。

第4ピリオド、津軽はプレスからの速攻や、#7佐藤の3Pで連続得点し、63-48とリードを広げる。流れを変えたい能代南はタイムアウトをとるも、津軽の激しいプレスを突破できず、完全に試合の主導権を握られてしまう。終盤、能代南#6大高のステップインや#5工藤の3Pで応戦するも追いつくことはできず、75-61で試合終了。

外角のシュートが決まらず苦しい場面が続いたが、オールコート・マンツーマンプレスから着実に得点を重ね、強さを見せつけた津軽中の全中での活躍が期待される。一方、負けはしたものの最後まで#4牧野を中心に果敢に攻め続けた能代南も見事であった。

文責 【 山口 雅裕 】